

やってみたいな！ 子どもの居場所づくりセミナー

日時 12月11日(金)午後2時～4時
場所 ソレイユさがみ
内容 講演「子どもの居場所とは？始めるためのあれこれ」
講師 無料学習支援塾おひさま代表 山角直史氏
事例報告 子ども食堂：ソレイユにこにこ食堂運営者
 無料学習支援：こども広場ウェルカム運営者
対象 子どもの居場所を立ち上げたい方、活動に興味のある方
定員 75名(申し込み順)
申込 中央ボランティアセンター
☎ 042-786-6181 **FAX** 042-786-6182
Eメール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

FAX・Eメールの場合は、①12/11セミナー受講希望②氏名③お住いの地区④電話番号を御記入の上お申し込みください。

市社協非常勤職員の募集

●ふれあいサービス相談員
内容 市民参加型有料家事援助サービス及び高齢者等給食サービスの相談対応、調整業務など。
勤務 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
給与 月額189,000円(社会保険加入)
資格 不問。福祉関連資格又は勤務経験があれば尚可。
 詳細は、市社協ホームページ、又は下記までお問合せください。
問合せ 福祉推進課市民活動係
☎ 042-756-5098

「生徒の中には実習・就職の際、乗換えて緊張してしまい、通学・通勤を断念してしまう子がいる。通学で交通機関に慣れ、人とのふれあいを学んで社会性を身につけてもらいたい。週1日でもいいので見守りをお願いしたい。」と養護学校から相談がありました。これをきっかけに、週1

自分の健康にも
役立っています
ボランティアの八木さんは、メンバーについて「自宅からバスターミナルまで、歩いて行くボランティア



バスターミナルで生徒を見送り



ボランティアの八木さん

「活動当初は、恥ずかしそうにしていましたが、慣れてくると少しずつ会話が掛けてくれます。すっかり仲良くなって、見守りボランティアの活動とは別に学校のイベントにも参加しています。」と、みんな楽しんで行っているそうです。

市社協ボランティアセンターでは、「子どもに関する活動をしてみたい」「趣味や特技を生かした活動をしたい」など、ボランティア活動にしたい方とボランティア活動に来てほしい方との橋渡しをしています。個人や団体での活動相談や、いるかバンク登録など、ボランティア活動に関する相談をお受けしています。

ボランティア相談と活動者をつないで
「ボランティア相談と活動者をつないで」市社協ボランティアセンターでは、「子どもに関する活動をしてみたい」「趣味や特技を生かした活動をしたい」など、ボランティア活動にしたい方とボランティア活動に来てほしい方との橋渡しをしています。個人や団体での活動相談や、いるかバンク登録など、ボランティア活動に関する相談をお受けしています。

「ちょっととした見守りが子どもたちのために」
養護学校生徒の通学支援ボランティアから
養護学校からは、「見守りいただいた生徒は、実習や就職先へも一人で行けるようになっていきます。また、PTAもこの取組に賛同され、活動時に着用するベストを補助していただいています。」と感謝の声。生徒の将来を思って支援の輪が広がっています。

緑区事務所 ☎042-775-8601

福祉コミュニティ形成事業

～「みんなで『気軽に』、『楽しく』!!」～

「地区社会福祉協議会」が中心となって、地域の福祉課題(困りごと)を発見・共有、解決に向けた仕組みづくりを検討し、実践する「福祉コミュニティ形成事業」。「交流の場づくり」、「見守り活動」、「困りごと相談窓口」など、地区ごとに取組は、様々です。今回は、活動を支える地域の皆さんの声を取りあげ、一緒に活動していただける方を大募集！
 コロナ禍で現在活動をお休みしている地区もありますが、再開に向けて、「これならできる!みんなできる!」是非一緒に活動しませんか。

★今号、次号(令和3年1月14日発行号)の2回に分けて、緑区内の6地区を紹介します。津久井地区、相模湖地区、藤野地区は、次号にて掲載いたします。

橋本

ふれあいの家 “ぬくもり”

地域の場づくりで繋がる心地良さ

昨年、「橋本男性ボランティアやってみよう会」の一員になった鈴木康弘さんは、「ぬくもり」の活動に謎かけや川柳を交え活性化に取り組んでいます。



百歳体操後は、謎かけで発想も若返り、意外な解答にワイガヤ活発化。「新年、孫に用意」とかけて「若作り」と解く。どちらも、おとしだま(お年玉・お歳騙)します。麻雀の代打ちでは、修羅場をかい潜った老雀士と互いの打ち回しを讃えニヤリ。一句「蘇る 麻雀仙人 ぬくもり荘」みんなが集ってワイガヤ、ニヤリが心地良い。今は、コロナ禍で活動休止ですが、ネット発信など持続可能なつながる場の実現に向け、工夫したいと感じています。

ふれあいの家「ぬくもり」(緑区元橋本町)

新たな住民同士の関係づくりを目指し、「橋本男性ボランティアやってみよう会」を中心に百歳体操やぬくもり喫茶などを開催し、誰でも参加できる憩いの場づくりをしています。

大沢

こむこむ茶屋

参加者からの声が活動の“原動力”

活動に参加する齊藤賢一さんは、地域の子どもの高齢者までの多世代の皆さんが交流できる場づくりの必要性を感じ、一緒に進めていただける仲間を増やしていきたいと考えました。



活動の回数を重ねるごとに知名度は、上がり、関係者だけでなく、参加者からも活動に対して期待の声が聞かれるようになり、活動の原動力になっています。コロナ禍で臨時休業中ですが、活動再開時期の確認のお電話をいただきうれしく思っています。早く再開できることを願っています。

こむこむ茶屋(上大島自治会館・古清水自治会館)

小地域での交流の場として身近な自治会館等で定期的に開催しています。「健康マーじゃん」等でも楽しいひと時を過ごしていただいています。

城山

しろやまふれあい農園

野菜作りをきっかけに地域参加

「しろやまふれあい農園」スタッフの島添要子さんは、「野菜作りをしませんか」という広報を見て、自分も畑を借りて野菜を作っているのだから「この地域の人は、どのように野菜を育てるのだろうか?」と興味があって参加しました。



初めて農園に参加したときは、「ちょっと場違いなところに来てしまったかな?」と思いましたが、一緒に畑を耕していくうちに引き込まれ、地域の中に知り合いができるきっかけにもなりました。

同農園で収穫した野菜を利用した地域食堂「愛・城ものがたり」にも参加するようになり、良い雰囲気の中で活動できてうれしいです。

しろやまふれあい農園(緑区城北地区)

農業を通じた地域住民の交流の場です。地域の誰でも参加でき、参加することで新しいコミュニティが生まれています。